

【メールマガジン～近畿運輸局公共交通だより】
2017年8月31日配信（No. 49号）

本メールは、公共交通政策全般について皆様に広く関心を持って頂くため、国土交通省総合政策局公共交通政策部が作成した全国の情報に、近畿運輸局において主に近畿地方の情報を加えて編集し、情報発信するものです。

★★★ご意見や情報、メールアドレスの変更はこちらへ★★★

<mailto:kkt-kinki-kikakuka@ml.mlit.go.jp>

なお、本メールの配信停止を希望される方は、上記アドレスまで「配信停止」と記入のうえお知らせください。また、本メールは出典を明記のうえで、関係者の方々に回覧・転送していただいても結構です。

※関係団体の皆様におかれましては、関係交通事業者あてに転送くださると幸いです。

- ついに目見え！あの「のりたろう」が「子ども霞ヶ関見学デー」でデビューしました！
(総合政策局 公共交通政策部 交通計画課)
- 平成30年度予算概算要求についてご紹介します。
(総合政策局 公共交通政策部 交通支援課)
- 平成29年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われました。
(総合政策局 公共交通政策部 交通支援課)
- 地域住民発！安佐動物公園でイベントを行いました。
(中国運輸局)
- 地域内や観光地における電動小型低速車の活用に向けた実証実験の企画を募集しています。
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)
- 9月17日に「トークバトル 鉄路の存在意義、そして存続方策（名古屋）」が開催されます。
(名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター)
- 9月20日に「第54回運輸政策セミナー」が開催されます。
(一般財団法人運輸総合研究所)

○10月28日、29日に「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2017（東京）」が開催されます。

（くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会）

<掲示板>

☆ 地域公共交通支援センターについて

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」について

ついにお目見え！

あの「のりたろう」が「子ども霞ヶ関見学デー」でデビューしました！

(総合政策局 公共交通政策部 交通計画課)

本メールマガジンをご愛読いただいている皆様にはおなじみの公共交通政策部のゆるキャラ「のりたろう」が、ついイベントにデビューしました！

8月2日(水)～3日(木)の2日間にわたって、「子ども霞ヶ関見学デー」が開催されました。子ども達に国土交通省の仕事を楽しく知ってもらうため、29の部署がそれぞれブースを設置し、2日間合計2,127名の子ども達に来場いただきました。交通計画課でも初めての試みではありましたが、「かしこいクルマのつかいかた」をテーマにブースを開設し、774名(交通計画課調べ)の子ども達に来場いただきました。

そんな中、一際注目を集めたのは、この日がデビューとなった公共交通政策部のゆるキャラ「のりたろう」でした。



公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」のプロフィール

略歴： 大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は利用促進PRの先頭に立って活動している。
駅長を務めるなど活躍中の仲間達を同じネコとして尊敬しており、いつか会って公共交通について熱く語り合いたいと思っている。

備考 ・移動手段は「ネコ足歩行」
・自由に移動できるが、疲れてしまうので100歩ごとに休憩が必要
・乗車可能人数は運転士(のりたろう本人)を含めて1名のみ！



子ども達と記念撮影するのりたろう



この日は、エコモ財団のゆるキャラ「エコちゃん」も登場し、ブースは大いに盛り上がりました。「のりたろう」は運転士を含め一人しか搭乗(?)することができませんが、「のりたろう」に乗ろうと抱きついて離れない子ども達もたくさんいました。

ブースでは、子ども達がクイズを通じて、かしこいクルマの使い方や公共交通が環境に良いことなどを熱心に勉強していました。



▲大人気ののりたろう



▲みなさん熱心に勉強しています



▲エコちゃんも大人気！

平成30年度予算概算要求についてご紹介します。
～持続可能な地域公共交通ネットワーク等の実現～

(総合政策局 公共交通政策部 交通支援課)

平成30年度予算概算要求においては、「地域公共交通確保維持改善事業」について、交通政策基本計画(平成27年2月13日閣議決定)に掲げられた目標の達成に向けて、計画に基づく施策の着実な進捗を図ることとし、全国各地における地域の多様な関係者の連携による生活交通の確保・維持や快適で安全な公共交通の構築に向けた取組を効率的かつ効果的に支援していくこととしております。

具体的には、「効率的かつ持続可能なネットワークの形成の促進」を柱とし、

- ① 利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な地域公共交通網への再編等への支援
- ② 地域特性に応じた路線バス、離島航路等の生活交通の確保維持の支援
- ③ ノンステップバスの導入、ホームドア整備等のバリアフリー化の支援
- ④ 地域鉄道の安全性向上に資する設備や車両の更新等の支援

などを要求しております。

こうした要求内容により、全体で約282億円の要求(対前年度比で約68億円の増額要求)となっております。

この他に、復興庁計上分として、東日本大震災の被災地におけるバス交通等の確保のため、約12億円を要求しています。

本制度の活用にご関心をお持ちの方は、本メールマガジン末尾に記載の連絡先または最寄りの地方運輸局交通政策部交通企画課までお尋ね下さい。



平成29年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われました。

(総合政策局 公共交通政策部 交通支援課)

平成29年7月12日(水)に平成29年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われ、石井国土交通大臣から各受賞団体に表彰状が授与されました。

本表彰は、地域公共交通に関する取組みについて、他地域の模範となるような顕著な功績があった団体を国土交通大臣が表彰するもので、平成21年から毎年実施しております。今回の受賞団体は、地域の実情に応じた創意工夫による持続可能な公共交通体系の実現、地域に根ざした息の長い利用促進策の実施、多様な主体との協働による地域の活性化に資する取組の実施など、他の地域に先駆けた意欲的な取組により、公共交通の利用の気運が醸成され、利用者数の増加につながったことが高く評価されました。

今回表彰の受賞団体及び功績概要は以下のとおりです。

【受賞団体】

○ かながわまち でんえんちよう 金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会 (福島県会津若松市)



* 公共交通空白地帯において、住民の主体的な参画によりコミュニティバス「さわやか号」の本格運行を実現するとともに、住民意見の把握・検証により、安定的な運行を確立するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

○ おらが湊鉄道応援団、湊鉄道対策協議会 (茨城県ひたちなか市)



* ひたちなか海浜鉄道存続のため、多様な主体と連携し、各種企画切符の販売など利用促進策を講じるとともに、地域住民のマイレール意識を高める広報活動を実施し、輸送人員の増加に貢献するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

○ えちぜん鉄道活性化連携協議会（福井県福井市）



* 全国に先駆けたアテンダント乗務の導入や、利用者ニーズを捉え他社線との相互乗り入れを実現することで、旅客サービスや利便性を向上させるとともに、地域住民による「えちてつサポーターズクラブ」発足により支援体制を確立するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

○ 兵庫県^{しそ}宍粟市、^{しんき}（株）ウエスト神姫、^{じょうよう}篠陽タクシー（兵庫県宍粟市）



* 三者で協働し、路線バスによる定額運賃導入や路線拡充を実現し、地域の実態に即した交通体系の再構築を図り、交通弱者の利便性向上と交通空白地帯を解消したほか、多様な利用促進活動により利用人員の増加を実現するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

○ ^{かしはら}柏原校区自治協議会、西日本鉄道^株、福岡県福岡市（福岡県福岡市）



* 三者で協働し、生活交通を確保するため、バス走行環境整備や多様な利用促進策を実施することにより、回送バスを活用した新規路線の本格運行を実現するとともに、地域にバス利用の気運を醸成し、地域を支えるバスとして定着させるなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

<参考：表彰の選考基準>

- (1) 住民、NPO、企業等の地域の多様な主体が、地域公共交通に関する取組みに参画していること。
- (2) 地域の実情に合った創意工夫が凝らされていること。
- (3) 事業の今後の自立性・継続性が見込まれていること。

※ 各受賞者の取り組みの詳細は下記HPにて紹介しております。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000042.html

地域住民発！安佐動物公園でイベントを行いました。

(中国運輸局)

梅雨が明け、子どもたちにとっては待ちに待った夏休みの到来です。日差しが照りつけ夏らしい天気となった7月22日(土)、公共交通利用促進および渋滞緩和へ向けた取組の一環として、広島市安佐動物公園でバスの展示等のイベントを行いました。

この取組は、あさひが丘団地の住民が、生活の足であるバス路線を守るために自らが主体となって進めているもので、昨年度から自治会・公共交通事業者等が一体となって活動しています。当日は、来賓として広島市安佐北区長、副区



長にお越しいただき、団地住民の方々も集まって盛大に開会セレモニーを行いました。また、安佐動物公園方面にバス路線をもつ広島電鉄と第一タクシーが実際に使用している車両を持ち込み、広電のバスには、何とイベントのために作成した行先表示が！カラフルなバスが2台並んだ様子は大変目を引くよ



▲少し見づらいますが・・・「asa zoo」の文字とウサギとゾウのイラストが表示された、特別仕様です。

うで、訪れた子どもたちは興味津々の様子でバスに乗り込んでいきました。バス車内では乗務員の方による乗り方学習や、運転席に座っての記念撮影等を体験いただき、夏休みの思い出づくりになったのではないかと思います。

また、バスの乗車体験をしてくれた方へのガチャガチャのプレゼントとして、当イベントにご協力いただい



▲第一タクシー車両と乗り方パネル



▲乗り方パネルを使って説明する尾田自治会長

る呉工業高等専門学校の学生さんたちが、動物の写真の缶バッジを作成してくれました。他にも、「BUSit(バスイット)※」の実演や、安佐動物公園バス停の運行情報を簡易モニターに表示するなど、関係機関それぞれができることを出し合ってイベントを盛り上げました。

猛暑の中での長時間のイベントではありましたが、子どもたちの笑顔に癒やされつつ、無事終了することが出来ました。当課では、引き続き団地住民の方々や関係機関と連携して、公共交通の利用促進に向けた取組を行って参ります。

※バスロケーションシステムを利用した、バスの運行情報がスマホ等でわかるサービス。



▲ガチャガチャ、何が出るかな？

▼将来の運転士候補！？



▲バスイットの実演も行いました



バス停の時刻表も
動物園デザインに
なりました。



▲動物園の南園長

地域内や観光地における電動小型低速車の活用に向けた実証実験の企画を募集しています。

◆「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団」からのご案内です。◆

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、地域内における生活の足や観光地での移動手段としての「電動小型低速車」の活用に向けて、平成26年から公道走行が可能になったゴルフカートの国内の事例調査や活用シナリオの検討、セミナー開催等を行っております。今年度においては事例調査の拡大と実証実験に向けた検討を行っており、現在、平成30年度に実証実験の実施を希望する地域から企画を募集しております。

採択された企画は、有識者やエコモ財団等による支援のもと、実証実験の実施に向けた検討を行い、実施計画を策定します。

■ 実施主体

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

■ 募集内容

地域内や観光地における電動小型低速車の活用に向けた実証実験の企画提案

■ 応募資格

- ・自治体、企業、商工会議所、研究機関、NPO等※の団体であること
※自治会等の任意団体も応募可能
- ・協議会や複数の関係主体による応募を奨励

■ 応募方法

応募申請書と企画提案書をエコモ財団へ提出

■ 選考

エコモ財団内に設置されている

「地域内や観光地における電動小型低速車の活用推進委員会」にて実施

■ 採択件数

3件程度

■ スケジュール

応募期間 平成29年8月4日～10月17日

選考期間 平成29年10月～11月

採択通知 平成29年12月中

計画策定 平成29年12月～平成30年3月

■ 募集要項・応募書類ダウンロード先

<http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/bosyuu.html>

<お問い合わせ>

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階

(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部 熊井

9月17日に「トークバトル 鉄路の存在意義、そして存続方策」が開催されます。

～ 全国で頻発する鉄路廃線問題・・・

その最前線、修羅場で体を張ってきた二人が、いま、ホンネでアツク語る ～

◆「名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター」からのご案内です。◆

鉄道廃線問題は以前から全国各地で起き、存廃決定後、存続した鉄道や代替交通は、見違えるほど利用が増えたところがある一方で、利用者減少に歯止めがかからないところもあります。そして近年、鉄道廃線問題がまた多くなってきており、今後も増えそうな見込みです。

しかし、鉄道を残すべきか否か、残すとしたら何をしなければならないのか、逆に廃止するとしたらどのように代替策を講じるのかについては、それぞれの地域において暗中模索が行われてきたものの、その現場での実情が広く知られることが少ないため、断片的かつ不十分な認識を前提とする議論や検討にとどまらざるを得ず、適切な対応を妨げる要因となっています。

そこで、第三セクター鉄道の公募社長として3年弱にわたり利用促進のため奮闘し、鉄道存続と地域活性化に大きなインパクトを与えた「鉄道を守った男」山田和昭さんと、鉄道廃線確定後の代替交通確保に多数携わり、「廃線処理を敗戦処理に終わらせない」のキャッチフレーズを実践してきた「鉄道を看取った男」加藤博和が、それぞれ飛び込んだ「修羅場」の内幕をアツク語ります。そして、鉄路の意義と存続方策、そして公共交通網を守っていくために必要と考えることについて激論を繰り広げます。鉄道廃線問題に取り組む上で大いに参考になることでしょう。

■ 開催日時

平成29年9月17日（日）14:00～17:00（終了後、交流会＜実費＞を予定）

■ 場所

名古屋大学東山キャンパス ES総合館1階 ESホール

※趣旨を踏まえ、自家用車でのご来場はお控えください。

■ 参加費

無料（どなたでもご参加いただけます）

■ 出演（敬称略）

「鉄道を守った男」

津エアポートライン（株）シニアエキスパート 若桜鉄道（株）前・代表取締役社長 山田 和昭

「鉄道を看取った男」

地域公共交通プロデューサー 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 加藤 博和

（司会：鉄道アーティスト 都市交通政策技術者 小倉 沙耶）

■ 主催

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

■ 申込方法

下記サイトをご覧ください。原則、E-Mailでの申し込みとなります。

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/railway.html>

「鉄道を守った男」

津エアポートライン(株)シニアエキスパート

若桜鉄道(株)前・代表取締役社長

山田和昭



「鉄道を看取った男」

地域公共交通プロデューサー
名古屋大学大学院環境学研究科教授

加藤博和



全国で頻発する鉄道廃線問題・・・
その修羅場で体を張ってきた二人が、
いま、ホンネでアツク語る

「トークバトル」



司会:小倉沙耶
(鉄道アーティスト、
都市交通政策技術者)

「鉄路の存在意義、そして存続方策」

日時:2017年9月17日(日)14:00-17:00 (終了後、交流会を予定)

場所:名古屋大学東山キャンパス ES総合館1階 ESホール

申込・問合せURL:<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/railway.html>

※参加費は無料です。どなたでもご参加いただけます

主催:名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

後援:(公財)地域公共交通総合研究所、くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

9月20日に「第54回運輸政策セミナー」が開催されます。
テーマ：地域公共交通の将来像 ～有識者懇談会の提言～

◆「一般財団法人運輸総合研究所」からのご案内です。◆

このたび私ども運輸総合研究所におきまして、下記のとおり「第54回運輸政策セミナー」を開催致します。つきましては、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

■ 開催日時

平成29年9月20日（水）18:00～20:00（開場 17:30）

※軽食をご用意いたします。

■ 会場

運輸総合研究所 2階 大会議室（日比谷線神谷町駅徒歩1分）

■ 参加費

1,000円

■ テーマ

地域公共交通の将来像 ～有識者懇談会の提言～

<講師>

国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課長 金子 正志

<概要>

地域公共交通活性化再生法が施行されて10年。地域が主体となって公共交通に取り組む制度が導入されたことにより、公共交通に対する意識は変わり、様々な取組が進められてきました。

その一方で、この間にも自動車交通を中心に大きな環境の変化があり、また高齢化の進行や担い手不足などの新たな課題も抱えるなど、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。

国土交通省では、今後10年を視野に、こうした諸課題に如何に取り組むべきかについて検討するべく、有識者からなる懇談会を設置し議論を重ねてきました。その提言を踏まえ、今後の地域公共交通のあり方、関係者の取り組むべき課題等について御紹介いたします。

■ 主催

一般財団法人運輸総合研究所

■ 申し込み方法

氏名、所属、役職、メールアドレスを collo@jterc.or.jp 宛にメールしてください。

お申込みは9月15日（金）までお願いいたします。

■ お問い合わせ先

一般財団法人運輸総合研究所

03-5470-8415

<http://www.jterc.or.jp/>

10月28日、29日に「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2017」が開催されます。

◆「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会」からのご案内です。◆

平成29年10月28日（土）、29日（日）に東洋大学白山キャンパス（東京都文京区）において、「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2017」が開催されます。

本フォーラムは、少子高齢化が進む中で、日常の通院や買い物等に困難を抱える人々のくらしの足の問題を解決するため、地域住民、行政職員、研究者、バス・タクシー事業者、福祉・介護・医療の従事者、NPO等の関係者が集まり、利用者、生活者の目線をベースとして本音で語り合い、それぞれが抱える問題解決のヒントを得る場として開催されるものです。

■ 開催日時

平成29年10月28日（土）、29日（日）

■ 場所

東洋大学白山キャンパス（東京都文京区白山5-28-20）

■ 主催

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

■ 参加費

3,000円（1日・両日参加共）

■ 参加・ポスター発表の申込は、以下のWEBサイト上でお申し込み下さい。

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

<プログラム>

・10月28日（土）

12:30 開場・受付開始

13:30 趣旨・進行説明

13:40 くらしの足 概論&ディスカッション（コーディネーター 鎌田実（東京大学教授））

15:40 グループディスカッション

17:40 懇親会

19:30 1日目終了

・10月29日（日）

9:00 開場・受付開始

9:30 趣旨説明・ショートスピーチ（松本年弘（国土交通省総合政策局公共交通政策部長））

9:50 基調講演・ディスカッション（コーディネーター 加藤博和（名古屋大学教授））

11:30 取り組み紹介（ポスターセッション）のPRタイム

12:10 取り組み紹介（ポスターセッション）

14:50 白熱討論（コーディネーター 岡村敏之（東洋大学教授））

16:30 閉会



本音で語り合おう、知り合おう、そして元気な地域をつくろう

くらしの足を みんなで考える 全国フォーラム 2017

くらしの足に関する取り組みの
ポスター発表も募集中！
※発表申込〆切 9月末日

日時 2017年 10月 28日 土・29日 日

場所 東洋大学白山キャンパス
(東京都文京区白山 5-28-20)

参加費 3,000円 (1日・両日参加共)

※当日会場でお支払いください

プログラムの詳細・参加申込は裏面へ！

参加申込〆切

10/20

主催 くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会 [実行委員長 岡村敏之 (東洋大学教授)、副実行委員長 加藤博和 (名古屋大学教授)]
共催 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
後援 国土交通省、厚生労働省、(社) 全国社会福祉協議会、東洋大学国際共生社会研究センター、
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター、(一社) 日本民営鉄道協会、(公社) 日本バス協会、
(一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社) 全国個人タクシー協会、(一社) 全国子育てタクシー協会、(一社) 全国福祉輸送サービス協会
全国交通運輸労働組合総連合、日本私鉄労働組合総連合会、全国自動車交通労働組合連合会、(特非) 市民福祉団体全国協議会、
(特非) DP[日本会議、(特非) 全国移動サービスネットワーク (申請中含む)]
協力 東洋大学 メディアパートナー (株) 東京交通新聞社 (TEL: 03-3352-2181)

くらしの足をみんなで考える全国フォーラムとは？

少子高齢化が進む中で、日常の通院や買い物等に困難を抱える人々が全国で増え続けています。このくらしの足の問題を解決するために、当事者、行政職員、研究者、バス・タクシー事業者、福祉・介護・医療の従事者、NPOなど、多くの関係者が集まり、地域を越え、立場を越え、利用者、生活者の目線をベースとして本音で語り合い、お互いを知り合い、それぞれが抱える問題解決のヒントを得る「気づき」の場として、本フォーラムを開催します。



プログラム

10/28 (土)

12:30 開場・受付開始

13:30 趣旨・進行説明

13:40 くらしの足 概論&ディスカッション

「大いに語ろう、くらしの足の原点から自動運転まで」

高齢化、人口減が進み、高齢運転者の事故の問題が顕在化するなか、くらしの足の原点から、自動運転まで、幅広く議論します。

講演 鎌田実 (東京大学教授)

ディスカッション

- ・三星昭宏 (近畿大学名誉教授)
- ・大津太郎 (秦野市公共交通推進課課長代理)
- ・遠藤準司 ((特非) 全国移動サービスネットワーク理事)
- ・佐治友基 (ソフトバンクドライブ㈱代表取締役社長)

コーディネーター 鎌田実 (同上)

15:40 グループディスカッション

グループに分かれて、くらしの足に関する悩みや課題を共有し、解決のヒントをみんなで議論する時間です

17:40 懇親会 (会費3,000円・事前申込制)

19:30 1日目終了



10/29 (日)

9:00 開場・受付開始

9:30 趣旨説明・ショートスピーチ

9:50 基調講演・ディスカッション

「『くらしの足』で地域を『健康』にする！」

「健康で」「幸福な」地域づくりを支える『くらしの足』をどうすればつくれるのか。皆さんと一緒に考えます。

基調講演 久野謙也 (筑波大学教授)

「自然と健康になれるまちづくりにおける公共交通の重要性」

事例紹介 交通事業者 (予定)

ディスカッション

上記2者が熱く議論します。

コーディネーター 加藤博和 (名古屋大学教授)

11:30 取り組み紹介 (ポスターセッション) のPRタイム

12:10 取り組み紹介 (ポスターセッション)

14:50 白熱討論

「『くらしの足の確保』の先を見据えて」

「足の確保」だけではない、「健康」「生活の質」も意識した新たなくらしの足の仕掛けは？ 様々な立場の登壇者が熱く語ります。

- ・岩村龍一 ((株) コミュニティタクシー会長)
- ・若菜千穂 ((特非) いわて地域づくり支援センター常務理事)
- ・伊藤昌毅 (東京大学助教)
- ・寺井豊 (京都府交通政策課長)

コーディネーター 岡村敏之 (東洋大学教授)

16:30 閉会

ポスター発表募集中！ (9月末〆切)

くらしの足に関する取り組みを、「取り組み紹介 (ポスターセッション)」の時間に、全国からの参加者と共有しませんか？ 詳細と発表申込は、WEBの特設ページをご確認ください！

◆テーマ例 (参考)

- 「住民が担う地域交通」「自治体・事業者の先進的取り組み」「パーソナルモビリティとくらしの足」
- 「くらしの足の担い手育成・中間支援」「情報ツール・製品・サービスの紹介」

参加・ポスター発表の申込はこちら！

「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」WEB サイト

▶ <https://zenkokuforum.jimdo.com/>



※WEB上からのお申し込みができない場合は、下記メールアドレスへお問い合わせください。

お問い合わせ

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2017 実行委員会事務局

メール: info@kurasinoasi.com

WEB: <https://zenkokuforum.jimdo.com/>

住所: 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学岡村研究室内

アクセス

東洋大学白山キャンパス
(東京都文京区白山 5-28-20)



- 都営地下鉄三田線「白山」駅
A3 出口から「正門」徒歩 5 分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅
A1 出口から「正門」徒歩 7 分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅
1 番出口から「正門」徒歩 5 分
- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅
1 番出口から「正門」徒歩 15 分
- JR 山手線「巣鴨」駅
南口から「正門」徒歩 20 分
- 都営バス「東洋大学前」下車 正門すぐ
(草 63 系統: 池袋駅~浅草町)

< 掲 示 板 >

☆ 地域公共交通支援センター

公共交通政策部では、市町村をはじめとする各地域の関係者が、地域公共交通の確保・維持に取り組む際に有効に活用いただくため、全国各地における様々な先進事例（約300事例）を蓄積している「地域公共交通支援センター」を運用しております。

「地域公共交通支援センター」は、地域、人口、交通モード等により、先進事例を検索することも可能となっております。是非ご活用下さい。

<地域公共交通支援センター> <http://koutsu-shien-center.jp/index.html>

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」（以下「キャラクター」という。）は、公共交通の利用促進について、より効果的な広報・啓発を行うことを目的としております。

キャラクターの使用を希望される場合、地方運輸局交通政策部交通企画課までお問い合わせ下さい。申請手続きについてご案内致します。

なお、「地域公共交通支援センター」においても、キャラクターの申請手続き、使用方法、FAQをご案内しております。

公共交通利用促進キャラクター のりたろう



大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は利用促進PRの先頭に立って活動している。

駅長を務めるなど活躍中の仲間達を同じネコとして尊敬しており、いつか会って公共交通について熱く語り合いたいと思っている。

- ・移動手段は「ネコ足歩行」
- ・自由に移動できるが、疲れてしまうので100歩ごとに休憩が必要
- ・乗車可能人数は運転士（のりたろう本人）を含めて1名のみ！

読者の皆様からのご要望や全国に共有したい情報等がございましたら、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 石橋
〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3（中央合同庁舎3号館3階）

TEL：03-5253-8275（直通）

FAX：03-5253-1513

E-mail: koutsukeikaku_joho@mlit.go.jp

★国土交通省HP（情報発信のページ）

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport.tk_000039.html



